

令和4年度 脱プラスチック生活実践モニター調査結果

調査の概要

目的 脱プラスチック生活の実践によるプラスチックごみ削減効果の検証

モニター 福井県連合婦人会 46名

調査期間 令和4年9月～10月のうち任意の2週間（14日間）

調査内容 ① 脱プラスチック生活日記（実践事例集）を参考に2週間プラスチックごみ削減の取り組みを実践
② 実践によって削減できたと考えられるプラスチックごみの量を記録
③ 実践終了後、アンケートに回答

モニター調査結果

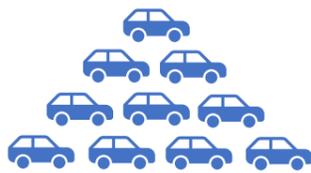
実践によるプラスチックごみ削減量

総削減量	28,160 g
1人1日あたり	43.73 g

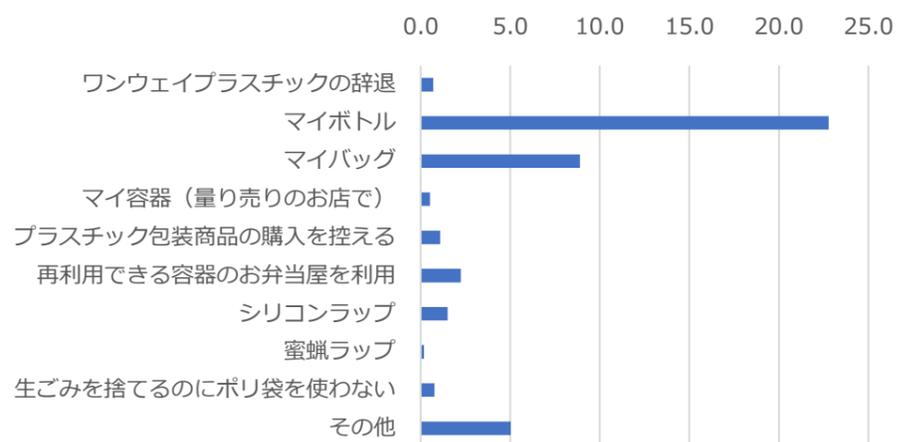
福井県民約75万人で脱プラスチック生活を1年間つづけると…

約**1万2千トン**の削減に！

普通自動車約6,000台分！

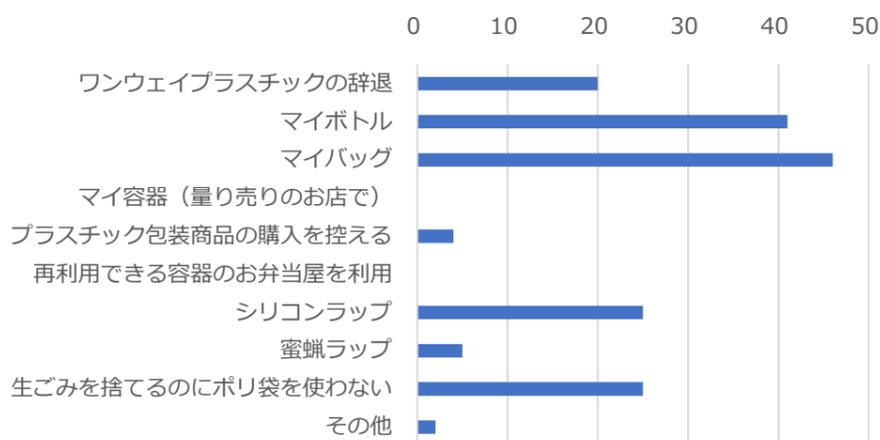


事例別 1人1日あたりの削減量 (g)



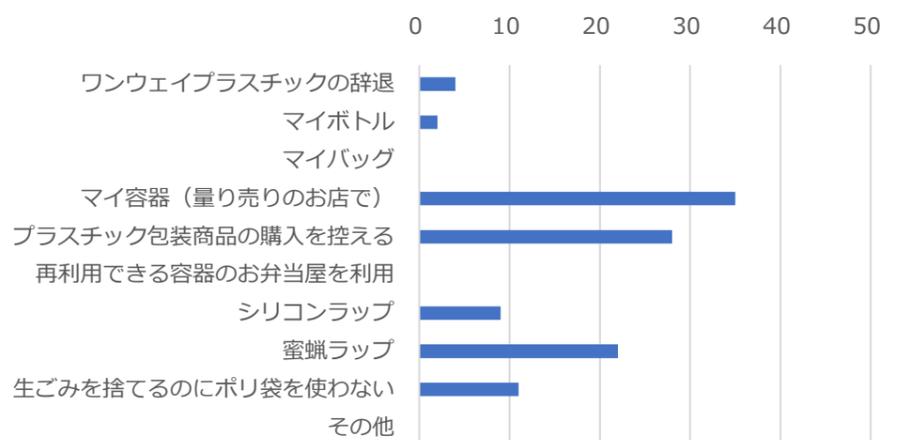
アンケート結果

実践しやすかった事例



モニターの声： マイボトルやマイバッグは習慣化しやすい

実践が難しかった事例

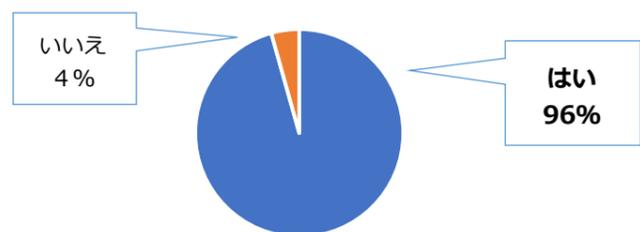


モニターの声： 量り売りのお店があまりない、プラスチック包装商品が多すぎる

多くの人に実践してもらうための工夫



今後も実践を継続したいか



モニターの声（自由意見）

実践してみて毎月ラップ（プラスチック）を使っていたことを実感した、子供の頃から教育する事で大人も意識が変わると思う
使わない生活の実践も大切だが「作らない」「流通させない」社会になってほしい